



やまだ いっこう

山田一功県政レポート

平成27年6月20日発行 Vol.8

発行者 山梨県議会議員 山田一功 甲斐市宇津谷1008 Tel:055-226-8111
http://www.yamada-ikko.info/ E-mail:ikkoyama@green.ocn.ne.jp

2期目がスタートいたしました、今後ご支援よろしくお願いたします。

平成27年3月6日(木)、定例県議会にて、一般質問をさせていただきました内容を中心に報告させていただきます。質問の様子がTV録画でご覧いただけます。(上記ホームページへ)

山田一功



2月定例会にて質問中



本を手に質問



発言を求める



議場上から

平成27年度当初予算及び主な知事提出案件

●知事提出議案

- 平成27年度山梨県一般会計補正予算 骨格予算 4,438億973万1千円(対前年度当初比 △3.3%)
- 山梨県世界遺産富士山基本条約制定の件
- 甲府駅南口駅前広場設置及び管理条例制定の件
- 山梨県指定通所支援の事業等に関する基準等を定める条例中の改正の件
- 山梨県指定障害福祉サービスの事業等に関する基準等を定める条例中の改正の件
- 山梨県特別養護老人ホームに関する基準を定める条例等中改正の件
- 山梨県鳥獣の保護及び狩猟の適性化に関する法律施行条例及び山梨県県税条例中改正の件
- 山梨県教育委員会組織条例等中改正の件

平成27年度6月議会は
6月17日開会(7月3日閉会予定)で開催されています。

新装された
議会を見学に
来ませんか?



3月6日議会傍聴いただいた皆様

2月定例県議会(2/26~3/16)一般質問要旨

Q 人口確保について

- 人口確保対策の基本的な考え方について
A.人口増加に向けて大きく目標を掲げ、イノベーションを起こしていくことが重要。既存事業の仕組みを有効活用し、国が創設した財政支援も最大限に活用していく。
- 地方創生先行型の地域住民生活等緊急支援交付金の活用について
A.県の人口減少対策戦略本部において検討してきた人口確保のための施策に加え、地方創生に向け速やかに実施すべきと判断したものの活用していく。

Q 雇用の創出等について(国立高等専門学校)

- 中部横断自動車道の開通等を見据えた企業誘致について
A.交通アクセスが飛躍的に向上することから、他県での企業誘致活動を行っている。今後県外企業に意向調査を行い、東海・中京地域を中心に企業誘致を強力に推進していく。
- 県内企業の新たな事業展開への支援について
A.「やまなしものづくり産業雇用創造プロジェクト」を実施し、成長分野への進出に向けた取り組みを支援している。研究開発については本格的な事業化、起業・創業支援の充実を図る。
- 産業を担う人材の育成について(高等専門学校誘致)
A.国立高専はスリム化が進み新たな誘致・開校は難しい。機械電子産業界から即戦力人材の供給が求められており、県立高専設置が必要と考える。企業生徒等のニーズ調査を行い準備を進める。

Q 農業への企業参入等について

- 耕作放棄地の現状とその解消について
A.耕作放棄地面積は6,404ヘクタールで、傾斜地の多い峡南、富士東部地域の耕作放棄地率が約3割と高い。薬用植物などの適作を検討・提案していく。
- 本県農業を支える担い手の確保・育成について
A.栽培技術や経営ノウハウの習得支援など、就農促進と経営の早期安定を図る。農業や移住に関心のある若者を対象とした意向調査やUターン就農する農家子弟への奨励金により更なる施策の充実を図る。

●農業への企業参入の状況について

A.この5年間で58の企業が参入し、115ヘクタールを超える農地が活用され、約65ヘクタールの耕作放棄地の解消が図られた。

●企業の農業参入の促進に向けた取り組みについて

A.企業訪問などにより本県の立地や生産環境などの優位性、サポート体制をPRし、現地法人の設立支援、栽培技術の指導、基盤整備などの支援を進めていく。

Q 産前産後の母親支援等について

- 産前産後ケアセンターの事業内容について
A.地域貢献を念頭に置いた運営方針が示され、昼夜を問わず助産師を手厚く配置するなど、産後間もない母親と乳児が安心して滞在するための配慮がなされている。
- 山梨県版ネウボラの構築について
A.産後ケア事業推進委員会を構成する県と27市町村及び関係機関がセンターとの緊密な連携をとることが構築の第一歩になるものとする。

Q 認知症対策について

- 本県の認知症の実態等について
A.認知症高齢者は平成26年4月現在24,263人で全体の7割以上が家族と暮らしている。今後急増が予想され、環境の整備、支援体制の構築などを更に推進していくことが課題と認識している。
- 認知症の人や家族への支援について
A.相談窓口として認知症コールセンターを設置している。認知症の人やその家族が気軽に相談できるよう周知に努め、5万人を超える認知症サポーターの効果的な活用方を検討していく。
- 若年性認知症への支援について
A.日頃の不安や悩みを話し合える場となる交流会を継続的に開催し、本人や家族のニーズを踏まえた対策を講じていく。また、正しい理解の普及促進に努めていく。
- 早期発見及び適切な医療・介護サービスの提供について
A.認知症初期集中支援チームを全市町村に設置しようと考えている。チームの中核となる認知症サポート医の養成を強化するなど積極的に支援していく。

※山田一功オフィシャルHPから質問の様子がTV録画でご覧いただけます。

6月11日会派の県内調査で山梨県果樹試験場を視察。新品種のサクランボ、桃、醸造用葡萄などについて説明を受ける。



今年の3月7日(土)双葉ふれあい文化ホールにて500名を超える来場者の中、第3回県政報告会が行われました。

めだかの学校Jr.の子ども達と太刀岡山に登山しました。(全33名)
い されました。

前日太宗匠歓迎レセプション(富士屋ホテル)